

令和元年度第1回 宗像市健康づくり推進協議会議事録

日 時： 令和元年7月29日（月）
19時00分～20時10分
場 所： 市役所北館2階 204会議室

出席委員：大重委員、旭委員、栴田委員、三戸委員、中谷委員、鏑委員、石松委員、森岡委員、北野委員、吉永委員、大門委員
事務局：【健康福祉部長】北原部長 【健康課】林田課長、西川参事、橋本企画主査、大森企画主査、柴田主任管理栄養士

（事務局）宗像市健康づくり推進協議会規則第5条第2項により、現在、委員15人のうち11人の参加があるので、会議は成立。

1. 開会あいさつ

（大重会長よりあいさつ）

（事務局：林田課長）開会にあたり、委員の交代もあったため、あらためて趣旨を説明する。本協議会は、宗像市の健康づくりのためにどのような取り組みが必要か、健康づくりに関して経験・知識を持つ委員の皆様と協議し、施策に反映するための会。現在の宗像市の健康・食育計画の『健康むなかた21』『健康むなかた食育プラン』は、この協議会で協議して作成した。今年度は中間年度のため中間調査を行い、社会情勢、法制度改革なども踏まえ、必要に応じ見直しを行う。このため、今年度の協議会スケジュールは密になっているが協力をお願いしたい。

2. 委嘱状交付

（任期中の異動等により交代委員に対し、市長に代わって健康福祉部長より委嘱状交付）

3. 委員紹介

（着席順で自己紹介）

4. 職員紹介

（市職員自己紹介）

5. 議事録署名人について

（大重会長）議事録署名人について、委員名簿順に、石松委員、森岡委員の2名を提案したい。
⇒承認

6. 報告事項

（1）市健康づくり事業について 【資料2】 【資料3】

（大重会長）市健康づくり事業について事務局から説明を。

（事務局：西川参事）（資料2、資料3を説明）健診について、胃がんリスク検査、子宮頸がんHPV検査は宗像市独自のもの。健診の回数は、年間101回で、季節を問わずまんべんなく受診できるよう工夫している。予防活動については、医師会の健康教室はじめ、市では、生活習

慣病予防教室に市民が手軽に参加できるよう、休日にも開催している。今年度は、成人男性の風しんの予防接種を開始した。また、地域での介護予防教室の支援にも力を入れており、住民の通いの場を活用した介護予防活動が広がりつつある。

(大重会長) 質問があれば挙手を。

⇒特になし

(2) 市自殺対策推進計画について 【資料4】

(大重会長) 事務局から説明を。

(事務局：大森企画主査) この計画の策定にあたっての本協議会の協力に感謝している。(計画の体系図の説明) 市での具体的な取り組みについて、市の関係19課、全60事業を関連事業として体系的に進める。計画案からの変更点は、基本施策5「児童生徒のSOSの出し方に関する教育」で、計画案では、子どもたちが命や暮らしの危機に直面した際に、大人に助けを求められるようになるような取り組みのみに特化していたが、それより前の段階の、困難やストレスに立ち向かえる力や、自尊感情を高める取り組みを盛り込んだ。また、いじめから子どもを守るための取り組みを推進していくことについても、自殺の予防に欠かせないということから、取組に追加した。

計画の推進は、主に市の関連事業の進捗管理により行うため、健康づくり推進協議会の構成団体の取り組みの集約などは特に行わない。ただし、自殺対策の取り組みの周知啓発には協力をお願いしたい。今年度は、相談窓口や連携先の専門機関についての整理を行うほか、ゲートキーパー養成講座を開催する。さらに、9月の自殺予防週間、3月の自殺対策強化月間や地域のイベントの際に普及啓発と相談窓口の周知を行う。

(大重会長) 質問があれば挙手を。

⇒特になし

(大重会長) 宗像市の特徴は、40～50歳代の働く世代の男性、同世代の同居している主婦層の自殺の多く、これらに対して様々な支援事業が計画されている。

7. 協議事項

(1) 第2次健康むなかた21・健康むなかた食育プラン中間見直しについて【資料5】【資料6】

(大重会長) 事務局から説明を。

(事務局：柴田) (【資料5】【資料6】説明) 見直しの調査後、12月頃、本協議会で見直し案の協議を行い、1月に見直し案の決定と周知方法の確認を行う。

(大重会長) 質問があれば挙手を。

(委員) アンケートの内容について、質問の大項目を変える予定はないのか、考えが聞きたい。質問の仕方、表現の仕方によっては、経年の推移をみるのはどうかと思うものがある。

(事務局：柴田) 経年変化を追うことは重要。このため、経年変化を追うことができる既存データを活用した計画策定をという声があるが、現行の市の計画では経年変化はわからず、策定時、中間年度、最終年度の状況調査のみとなっている。今現在、計画期間の途中で調査項目を変更する予定はない。

(2) これからの健康づくり事業について 【資料7】【資料8】

(大重会長) 事務局から説明を

(事務局：西川参事) (資料7・資料8説明) 昨年度開始し、本協議会でも紹介した市の健康マルシェの結果と、今年度の予定は資料8にまとめている。昨日は、河東地区コミュニティセンターにて実施した。次回は9月28日日曜日に赤間地区で実施する。

(大重会長) 質問があれば挙手を。

⇒特になし

(大重会長) この取り組みは、男性の参加が多いことが画期的だと思う。

8. 事務連絡

(事務局：柴田) 次回の健康づくり推進協議会の予定は、12月、その次は1月の予定。

9. その他

(大重会長) 他になければ以上で協議事項は終了、進行を事務局に代わる。

(事務局：林田課長) 今回の見直しで、市が考えている見直し箇所、健診の受診率の算出方法が変更になったため、数値目標と値の算出方法を修正したいと。見直しに関する意見は、8月中に事務局あて出してほしい。

10. 閉会あいさつ

(北原健康福祉部長) 多忙な中の出席と日頃からの健康づくり、食育の取り組みに感謝したい。委員の皆様には、様々な立場から意見をいただいているが、今年度は中間見直しのため、残りの2回の協議会についても支援、協力をお願いしたい。